

黒崎さん(中3)が見事市長賞 明るい家庭づくりの作文

他に7名が奨励賞受賞

平成9年度「明るい家庭づくり」家庭の日に関する作文コンクール(市教育委員会、青少年育成小千谷市民会議主催)の入賞作品がこのほど発表となり、片貝中学校三年生の黒崎亜沙子さん(屋敷)が、最高賞の市長賞を受賞した。黒崎さんは昨年、教育長賞を受賞しており、二年連続の快挙。片貝からは他に七名(昨年六名)が奨励賞を受賞した。

応募総数は昨年の百九十七点より十三点減少の百八十四点、内訳は小学生百二十五点(昨年百三十六点)、中学生四十二点(昨年四十二点)、一般PTAの部が十八点(昨年十九点)。一次審査を通過した作品の中から小学校低学年、小学校中・高学年、中学校、一般PTAの五部門で、それぞれ市長賞と教育長賞が授けられた。

市長賞は黒崎亜沙子(片貝中三年・屋敷)「笑顔」
 奨励賞は黒崎祥子(片貝中一年・屋敷)「沼田」
 奨励賞は黒崎祥子(片貝中一年・屋敷)「沼田」
 奨励賞は黒崎祥子(片貝中一年・屋敷)「沼田」

笑顔 顔

片貝中学校 三年 黒崎 亜沙子

「重たい。疲れた。」と思うのが廃品回収である。子供会の行事に参加する機会がなくなつて町内の人々との関わりがあまりない。唯一中学校で行っている廃品回収で活動できたが、今はそんな機会さえ私にはない。実際には大変でやりたくない事だったけれど、もうやるのができないと寂しい。でも今までの廃品回収で多くの事を学んだ。私は廃品回収を行って驚いたことがある。

「ごめんなさい。廃品回収に来ました。」と言つてから廃品を頂いてくるものだとずつと思つていまして、それが私達の小さい時から習慣だった。ところが他の町内の人に聞いてみると、何も言わずに勝手に持って来ると言つたのだ。そういうものなのかもしれないと思つたが、自分達は良い事をしてる気分になつた。小学生の時から毎年二回ずつ廃品回収を行つてきたため、どの家がこの場所に置いておくのかもだいたい知っている。しかし、いくら知っているからと言

中一年・屋敷)、本田経子(片貝中一年・沼田)、南雲彩子(片貝中三年・一之町二区)、佐藤明美(片貝中三年・町裏一区)、大矢由香里(片貝中三年・町裏四区)

奨励賞が選出された。片貝小・中学校の入賞は次のとおり

▽小学校低学年の部
 大矢由香里(片貝小二年・町裏二区)

▽小学校高学年の部
 黒崎亜沙子(片貝中三年・屋敷)

▽奨励賞
 黒崎祥子(片貝中一年・屋敷)

▽中学校の部
 黒崎祥子(片貝中一年・屋敷)

市長賞は黒崎亜沙子(片貝中三年・屋敷)「笑顔」が受賞した。他に七名が奨励賞を受賞した。

福祉のまちづくり 講演会計画

6日夜7時

片貝町福祉会(吉原幸至代表)は、総会を6日午後7時から片貝公民館二階で開く。記念講演会として、新潟県レクリエーション協会専務理事の荒木快英氏による「町づくりについて」を計画しており、町民多数の来場を呼びかける。

寒梅を肴に一杯とは... さつき盆栽会意気な催し

片貝さつき盆栽会(本田一郎会長)は、去る2月11日午後2時から片貝公民館二階で「梅見の会」を開催した。毎年寒梅の見頃の時期に開催しており、今年で十八回目の恒例行事。会場には会員が丹誠こめて育てあげた紅白の寒梅、迎春花、デンドロムなど十数鉢が集まり、会場はすっかり華やか鮮やかな色彩と香に包まれた。参加者16名は寒梅をじっくり鑑賞した後、こんどはそれを肴に風流でしかも豪華な宴を催した。

宴は本田会長の挨拶、金箱支所長の乾杯で始まり、寒梅やさつきの育て方や腕自慢談に、花が咲いて盛会となった。本田会長の話しでは、今年は暖冬のせいか、寒梅を初めその他の花も例年より、いくぶん早く咲いたとのこと。

とふれあいを感じてきた。廃品回収で集める物は新聞紙やビン類などのいらなくなった物だが、私達が一番必要とする笑顔を同時に集めることができた。今思えば、廃品よりもこの笑顔を私は集めたかったのだと思う。

今まであたり前だと思つてきた事が他の町内ではされていなかったと知り、私の町内の良い所を一つ見つけることができた。他の町内も私の町内のようになつてほしい。



ていけたら、今よりも多くの人の笑顔があり良い町になつていくと思う。私にはそういう機会がなくなつてしまつた。学校の廃品回収でまずは中学生から声をかけていってほしい。

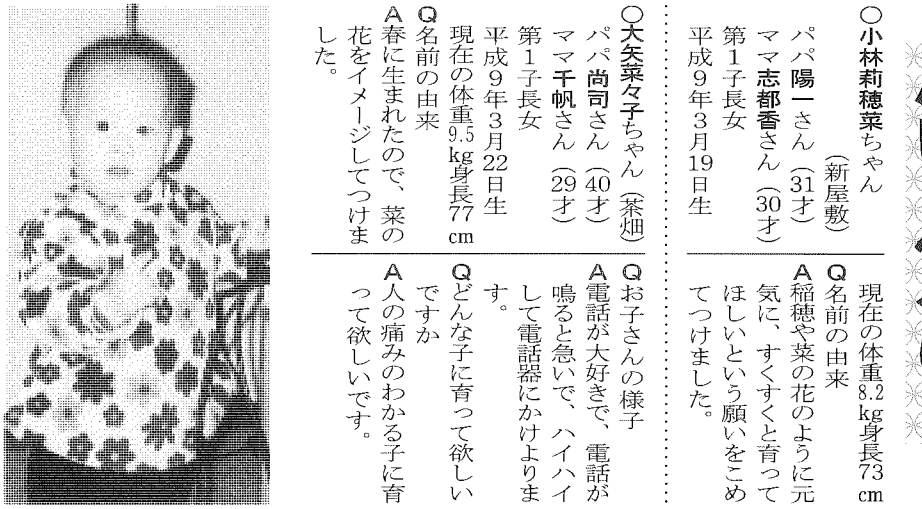
私達の町内にも一つ一つの笑顔が大切だ。それはリヤカーを使うことだ。リヤカーと言われてもどんな物かわからない人もうかもしれない。そうやってしまつたら寂しさを感じ



加者16名は寒梅をじっくり鑑賞した後は、こんどはそれを肴に風流でしかも豪華な宴を催した。

片貝保育所園児が鬼は外、福は内 デイホームかたかいで豆まき慰問

片貝保育所園児52名は、2月3日と6日、2班に分かれてデイホームかたかいを訪問した。節分の3日に訪問したお菓子と、園児達はお遊戯をし、節分の歌を歌ったり、お遊戯をした後、保育園にきた大きな豆を退治した。福豆をたくさん持ってきて、福の神に化身して「福は内」と大きな声で福豆をまいて、お年寄り達を喜ばせていた。お年寄り達も、たくさんもら



6日に慰問した園児達かわいい寸劇を披露したり、お年寄りの肩をトントンとたたいたり、サーブスで喜ばれていた。

片貝 ヒューマンウォッチング ゲートボールと言えは五十嵐さん

83歳にして今なおおたく、数々の役職をこなして、数々の功績を挙げた。工員をふり出しに事務、営業、経理、工場長をこなした。中でもゲートボールと言つたら五十嵐さんといつてもいい程のイメージが抱かれており、その熱中度は相当なもの。今無事終戦を迎えることが出来るのは、ゲートボールの魅力に因る。

老人クラブ入会は昭和55年頃であったが、まだその時は現役であったので、老人クラブのものにあまり参加出来ぬ状態であった。長岡市の酒店に勤めた後、

ゲートボールの魅力は、何と言つてもステッキを握れば誰でもすぐに競技参加出来ることだ。

ゲートボールの魅力は、何と言つてもステッキを握れば誰でもすぐに競技参加出来ることだ。



ゲートボールの魅力は、何と言つてもステッキを握れば誰でもすぐに競技参加出来ることだ。

ハッピーベイビー

現在の体重8.2kg身長73cm
 Q名前の由来
 A稲穂や菜の花のように元気、すくすくと育つてほしいという願いをこめてつけました。

現在の体重9.5kg身長77cm
 Q名前の由来
 A春に生まれたので、菜の花をイメージしてつけました。

訂正
 先月号一面のとなかい会長の見出しに「52才」とあるは「50才」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。